

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 5 月 26 日 (2005.5.26)

【公開番号】特開 2003-148587 (P2003-148587A)
 【公開日】平成 15 年 5 月 21 日 (2003.5.21)
 【出願番号】特願 2001-347066 (P2001-347066)
 【国際特許分類第 7 版】

F 1 6 H 37/02

F 1 6 H 15/38

【F I】

F 1 6 H 37/02 A

F 1 6 H 15/38

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 7 月 30 日 (2004.7.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

入力側ディスクと、この入力側ディスクと同心に配置されてこの入力側ディスクとは独立した回転を自在とされた出力側ディスクと、これら入力側ディスクと出力側ディスクとの間に設けられ、これら各ディスクの中心軸に対し擦れの位置にある枢軸を中心として揺動する複数個のトラニオンと、これら各トラニオンの内側面から突出した、これら各トラニオン毎に 1 本ずつの変位軸と、これら各変位軸に回転自在に支持された状態で、上記入力側ディスクと出力側ディスクとの内側面同士の間挟持された、上記各トラニオン毎に 1 個ずつのパワーローラとを備えたトロイダル型無段変速ユニットを備え、このトロイダル型無段変速ユニットと、発進クラッチと、前後進切換手段とを、動力伝達機構を介して、動力の伝達方向に関して互いに直列に配置して成るトロイダル型無段変速ユニットを組み込んだ無段変速装置に於いて、上記トロイダル型無段変速ユニットの構成各部材を変速ユニット用ハウジング部内に、上記発進クラッチと上記前後進切換手段とを、この変速ユニット用ハウジング部とは別のハウジング部内に、それぞれ組み付けると共に、これら変速ユニット用ハウジング部と別のハウジング部とを結合固定自在とし、これら各ハウジング部を結合固定した状態で、互いに独立した状態で上記各ハウジング部内に組み付けられた、上記トロイダル型無段変速ユニットと上記発進クラッチ及び上記前後進切換手段とが、動力の伝達を行なえる状態で結合される事の特徴とする無段変速装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 7】

又、無段変速装置は、モード切換手段を構成するクラッチ機構を備える。このクラッチ機構は、上記高速用クラッチ 3 5 と、上記キャリア 4 4 の外周縁部と上記リング歯車 3 2 の軸方向一端部 (図 1 4 の右端部) との間に設けた低速用クラッチ 5 1 と、このリング歯車 3 2 と無段変速装置のハウジング (図示省略) 等、固定の部分との間に設けた後退用クラッチ 5 2 とから成る。各クラッチ 3 5、5 1、5 2 は、何れか 1 個のクラッチが接続された場合には、残り 2 個のクラッチの接続が断たれる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0040

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0040】

【課題を解決するための手段】

本発明のトロイダル型無段変速ユニットを組み込んだ無段変速装置は、前述の従来から知られているトロイダル型無段変速ユニットを組み込んだ無段変速装置と同様に、トロイダル型無段変速ユニットを備え、このトロイダル型無段変速ユニットと、発進クラッチと、前後進切換手段とを、動力伝達機構を介して、動力の伝達方向に関して互いに直列に配置して成る。

又、上記トロイダル型無段変速ユニットは、入力側ディスクと、この入力側ディスクと同心に配置されてこの入力側ディスクとは独立した回転を自在とされた出力側ディスクと、これら入力側ディスクと出力側ディスクとの間に設けられ、これら各ディスクの中心軸に対し捩れの位置にある枢軸を中心として揺動する複数個のトラニオンと、これら各トラニオンの内側面から突出した、これら各トラニオン毎に1本ずつの変位軸と、これら各変位軸に回転自在に支持された状態で、上記入力側ディスクと出力側ディスクとの内側面同士の間挟持された、上記各トラニオン毎に1個ずつのパワーローラとを備える。